

離床機器自慢



当院でのレンタルコルセットを用いた 早期離床の取り組み ～POシェル～

川崎 真吾
盛岡赤十字病院

当院の整形外科では、脊椎の術後や圧迫骨折の治療には、治療用のオーダーメイドコルセットが処方されます。オーダーメイドのコルセットは、義肢装具の製作会社が作成し、装具の型どりから完成までには約1週間かかります。医師の処方ではコルセット装着下での離床指示が出ていることが多く、実際にコルセットの完成待ちで約1週間離床できないというのが現状です。

そこで、当院では医療マッチングプラットフォームサービス「早期離床パートナー」を活用し、コルセットの完成待ちまでの間に装着するレンタルコルセット「POシェル」を導入しています。

その結果、脊椎圧迫骨折により入院から離床までの平均日数は、レンタルコルセットなしは11.3日（2021年3月から2021年12月まで13人）、レンタルコルセットありは2.9日（2022年1月から

2022年4月まで11人）となり、POシェル導入により、離床が8.4日短縮しました。

POシェル装着にて、車いす移乗・歩行訓練などのリハビリを早くから開始することができるために寝たぎりの期間が短くなっており、廃用症候群予防・早期退院等に確実に繋がっていると思います。看護師サイドからも「一人でトイレに行ける方もいるため、おむつ介助の時間が減り楽になった」「食事の時も座位にて食事できる方もいるため、食事介助の負担が減った」という声があがっています。一方で「身体にフィットしていないため当たって痛い」など形状については改善の余地がみられます。今後も、医師や看護師・提供元である義肢装具の製作会社と連携しながら改善を行い、院内でより早期に離床できる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

〔COIの開示〕本原稿について、開示すべきCOIはない。

問い合わせ先
株式会社 P.O. イノベーション
〒025-0084
岩手県花巻市桜町1-397-2
TEL：0198-23-4091
URL：<https://www.po-innovation.co.jp/>

